

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社めぐみ	代表者	坂本恵	法人・事業所の 特徴	「お一人お一人の思いを大切にし、健やかな日々が送れるよう支援します。地域の皆様に愛される施設を目指します。」を理念に掲げ、代表の自宅を改造し、地域の中で家庭的な雰囲気での支援を行っている。 利用者だけでなく、地域の方々にも気軽に相談できる場所として運営を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護めぐみ	管理者	坂本孝子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1人	1人	3人	1人	1人	人	人	11人	1人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所が一体となって自己評価に主体的に取り組んでいる姿勢はすばらしい。出来ていない点も評価し、率直な意見が出されている。自分を見つめ直すことでスキルアップにつながっている。	①利用開始2～3週間後に初期モニタリングを行い支援内容を確認する。 ②言葉にできない人の思いを大切にし、一瞬の表情を見逃さない。 ③食事支援（生活支援）の際には後片付け（午後の作業）を優先せず、時間のかかる人には食事が終わるまで片付けない。 ④地域外の利用者の自宅での暮らしぶりが把握できていない部分が多い。モニタリング、送迎など機会あるごとに情報を得る。 ⑤茶話会など地域の人を巻き込んでの行事を企画する。 ⑥介護保険の活用等出前講座を計画・実施する。 ⑦苦情はなくても、日常の小さな訴えを苦情として見逃さないようにする。気付いたことは共有し、対応策を検討する。 ⑧学習（研修）して来た事は、繰り返し実施し定着するようにする。 ⑨個人情報大切に、利用者前で他の利用者の事を話題にしない。 ミーティング中はテレビをつけたり、音楽を流したりして職員の話が耳に入らないように工夫をする。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所の雰囲気はとても明るくフレンドリーである。地域の方も入りやすく、利用者の皆さんにとっても居心地の良い空間になっている。 事業所の入り口が分かりにくい、玄関先に段差があるなどの課題もあるが、静かで落ち着いた雰囲気	道路沿いにある専用駐車場の看板に事業所の位置が分かる案内を表示する。 段差の解消は難しいので、階段の意味など説明し理解を得る。

			の事業所になっている。	
C. 事業所と地域のかかわり			職員は、いつも明るく誠実な対応をしてくれている。また、地域の行事にも積極的に参加し、地域の方との交流を図っている。そのため、地域の方のいろいろな相談にも気軽に応じ、地域密着型の事業所として住民の信頼も厚い。	地域の方との交流を目的にした茶話会など利用者以外の人と一緒に時間を過ごすことを企画する。 講師を招いて最後まで地域で暮らす方法や介護保険の活用などについて、出前授業を企画する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			公民館の活動や老人会の活動などにも積極的に参加し、交流を深めている。また、散歩やドライブなどの外出する機会も多く、事業所外の活動も充実している。	真穴地区以外の利用者については、ケアマネージャーが、月に一度は連絡を取りその地区との関わりや行事等を聞き、参加できるものには参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議において、事業所の取り組みは具体的にわかりやすく説明されている。日々の様子や利用者の表情等がよく分る。事業所は運営推進会議で出た意見を真摯に受け止め改善に努めている。独居の方の情報は利用者だけでなく地域の方も含め駐在所の業務に役立っている。	地区外の利用者がある場合はその地区の民生委員さんにも運営推進会議の参加の声掛けをしてみる。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所の防災マニュアルがあることはわかっているが見たことはない。避難訓練は事業所のみでなく地域の防災訓練にも積極的に参加されている。地震・津波・火災・風水害・原子力事故などいろいろな場面を想定した訓練、対策を策定し実行してほしい。	現在策定している防災マニュアルを運営推進会議で提示して検討してもらいより具体的なマニュアルを策定する。 地震・津波・火災・風水害・原子力事故などいろいろな災害を想定した訓練を実施する。

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	1	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	9	1	0	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	1	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	2	0	1	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 初回面接では、「今何に困っているか。どんなことを希望して利用を考えているか。」に焦点を当てて面接を行っている。小規模多機能型居宅介護の機能について説明し、今後も困ったことや問題が発生したときは柔軟に対応できることを伝えている。そうすることでご家族・利用者が安心できる様図っている。
 ケアマネージャーまたは管理者が利用前に自宅や病院などに伺い十分状況を把握したうえで支援を開始している。モニタリングの内容は詳しく記載されており全員が共有している。
 利用の前にはお試しで来ていただいたり見学してもらったりしている。利用当初は顔なじみの方と同じテーブルになるよう席の配慮をしたり、利用日や回数など調整し、会話の内容もモニタリングの内容を大切にしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用開始後の様子は連絡ノートや送迎時に様子を報告しているが、3か月後・6か月後の面接まで介護者の気持ちや状況の変化の詳しいことが把握できていないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用開始2～3週間後に初期モニタリングを実施し、本人・家族の状況の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18:00~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	4	1	1	1 1
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	4	4		1 1
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	3	2	2	1 1
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	6	1		1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 現在の生活を維持し最後まで自宅での暮らしを続けたい。」という目標を掲げている方が多い。その目標には何とか対応できている。家族の介護負担の軽減などは柔軟に対応することで日々関わりが出来る。「手押し車で外出したい」を目標にしていた方は室内での歩行練習や下肢筋力増強体操など行うことで近くの店まで自分の食べたい物やご主人の好きな物など買いに行くことが出来た。「外出する機会を持つ」などの目標はドライブ・お花見など交流の機会が多く持つことができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 「本人のゴール」が把握できていないこともある。認知症が進行しており「何がしたいか？」の質問にも返答は返らないこともある。「どこか行きたいところは？」と聞くと「あの世」と答える方もある。家族の思いとご本人の思いに差があることが多々ある。本人は「家でじっとしていたい。」と思っている方もあり、家族の介護負担の軽減が達成できても、「人の中には出たくない」という思いは尊重できないでいる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 言葉で返答がなくても楽しそうな表情などその時その時の思いを見逃さないように努める。本人の思いを見逃さず、小さな思いを達成するように努力をしたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	5	3		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	1		2	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	2	3	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8		3		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	1	3		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 食事や排泄の介助は本人の状況に合わせた介助が来ている。排泄の状態を記録し緩下剤の調整をしている。体調の変化を見逃さないようにし、気づいた時は口頭で伝えたいえ、記録に残し情報の共有に努めている。湿疹・ただれなどについては軽度の場合は軟膏やクリームで対応し、受診の際に報告して処方して貰っている。
 体調の変化に気付いた時はすぐにベッドに横になってもらったり、受診介助したりしている。
 独居の方には配食や夕食を一緒に食べるなどしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 自分たちの仕事の段取りで利用者のペースに合わせられないでいる。(まだ食べている人がいるのに周囲の人の食器を片づけたりしている。)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 食事の集中力が切れないよう声掛けしながら片づける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	4	1	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	3		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	2	2	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用者が穴井地区の方の場合地域の方からの情報もあり生活スタイルや・人間関係など理解しやすい。送迎時に声掛けしてもらったり、公民館の行事に参加させてもらうなど地域の方との関係も途絶えない支援は出来ている。
 民生委員さんから相談を受けて利用に繋がるケースもある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 他地区の利用者については、人間関係など理解できていない場合が多い。利用日以外の過ごし方も把握できていないことが多い。
 地区外の民生委員さんも把握はしているが独居の方以外は連絡を取り合ったことはない。家族で解決されるので連絡することはない。
 長期に宿泊されると、本人の地元の方との交流は途絶えるが、家族の面会や自宅への外泊など行っている。独居の方は把握しやすくても、家族と同居の方の日々の暮らしぶりは踏み込んで聞きにくい。必要と思うことは遠慮しないで聞くことも必要。
 地域の方と交流のない方、人間関係が悪く地域の方ももてあまして例もある。地域の方の生活を守ることを優先することもある。
 地域でのつながりが切れない支援をしても、施設の入所を希望され地域での暮らしが途絶えることもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 自宅での暮らしぶりの把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7		1	1 1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1 1				1 1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	2			1 1
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	2			1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
近所の方の支援で安心して暮らせている方や独居の方の見守りをしてもらうボランティアの方、弁当の配食、民生委員さん・地区社協・公民館などいろいろな方の力を借り支援している。
通い・訪問・宿泊はニーズに合わせて柔軟に対応できている。
記録・ミーティングは丁寧に行われていて、情報の共有は出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
穴井以外の利用者については地域の資源の活用などはできていない。
ご家族はうまく資源を活用されているが、事業所が把握していないだけかもしれない。
家族に地域での暮らしぶりを踏み込んで聞けていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
家族に地域での暮らしぶりを聞く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4		4	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	2	4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	7	3	1		11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9	1	1		11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他のサービス機関との会議の出席・包括支援センターの会議の出席などはケアマネジャーか管理者が行っている。
地域の各機関や団体の活動には積極的に参加し避難訓練などは地域の方の応援を受けることもある。
登録者以外の方の訪問は少ないが、小中学生・保育園児・ボランティアなど地域の方の訪問は多い。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
登録者以外の高齢者の訪問
事業所が狭く地域の方を巻き込んでのイベントを企画したことがない。
気楽に訪問して話していける雰囲気づくりに取り組めていない。
地域の高齢者の中には「めぐみに行ったらお金がいるんで。」といった意識の方もおられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
茶話会など地域の人を巻き込んで地域の施設を利用した行事を企画する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

7. 運営

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	5		1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6			10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	5			11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 事業所のありかについての意見は常に話し合っている。
 事業所の状況は職員会議で報告され把握しており、意見を述べることも出来ている。
 管理者が地域の社会福祉協議会に参加したり、地域の方の相談に乗ったり、小中学校の実習の受け入れをしたり地域に対して貢献出来るよう努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 家族・利用者から苦情が上がらない。日頃の小さな訴えを見逃しているのかもしれない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 苦情とは言えなくても、日頃の訴えを見逃すことなく、気付いたことは職員で共有して対応策を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 6 月 24 日 (18:00~20:30)
------------------	-----	----------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、菊池、浅川、下井、坂本 (孝)
-----------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	2	2		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	1	2		10
③	地域連絡会に参加していますか	3		1	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	5			9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職場外研修は事業所に案内があるものはすべて公表され、希望する研修には参加することが出来ている。参加した研修は職員会時に報告し知識の共有に努めている。</p> <p>資格取得については、就職後にヘルパー・介護福祉士の資格を取得したものが 10 名をこえた。資格取得・スキルアップのための研修には参加できている。</p> <p>誰かが研修に行っても業務に支障がないだけの人員配置がなされており、安心して研修に行くことが出来る。</p> <p>地域連絡会には管理者が参加し伝達している</p> <p>リスクマネジメントについてはハッとヒヤリの報告・事故報告を事実の翌日に行い、職員会議において再度全員で確認し再発防止に取り組んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>学習してきた内容が時間とともに忘れがちになっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>学習してきたことは繰り返し実践し定着するように努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 6 月 24 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、下井、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1 1				1 1
②	虐待は行われていない	1 1				1 1
③	プライバシーが守られている	3	5	3		1 1
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1			9	1 0
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	2			1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待などは全く行われていない。玄関の施錠は 20 時以降であり、その後も家族や面会お迎えなど自由にしてもらっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
プライバシーの確保は難しく一人一人の気持ちを害さないよう心掛けている。
成年後見制度は対象になる方がいない。家族・親戚など後見人になる方が存在するため行っていない。
利用者の情報を共有するために話をする際、近くに利用者が座っていたりすることがある。
事業所の構造上プライバシーの確保が難しい。相部屋になったり、襖だけで会話の内容が丸聞こえだったりする。二階の居室を使用してもらえない身体状況でない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ミーティングの時はテレビをつけておく。利用者の前では他の利用者の報告はしない。